

平成 29 年度第 4 回三浦半島地区保健医療福祉推進会議（地域医療構想調整会議）の 開催概要

1 開催日時

平成 30 年 2 月 1 日（木） 19 時 00 分～21 時 10 分 横須賀市保健所 第一研修室

2 議事内容

- ・神奈川県保健医療計画改定素案について意見を伺った。
- ・基準病床数について意見を伺った
- ・医療と介護の一体的な体制整備に係る調整について意見を伺った。
- ・公的医療機関等 2025 プランに基づく地域医療構想の進め方について意見を伺った。

3 主な意見等

(1) 神奈川県保健医療計画改定素案について

- ・「こころの未病対策」の施策で、「内科等の身体科の医師及び薬剤師等が患者のこころの不調に気づき」とし、「及び薬剤師等」を入れてはどうか。未病というレベルの患者の心の変調に薬剤師が気づきやすいのではないか。
- ・在宅医療は医者一人がどんなに頑張ってもやっけていけない。看護師、准看護師の助けが必要になってくるので、県がもう少し本気で看護師の養成・確保に取り組む姿勢を見せてもらいたい。

(2) 基準病床数について

- ・休床中（約 350 床）の病床もその殆どが 6 年後までには再開するという意向が示されており、同時に病床利用率を上げることにより、現状の病床数で十分対応可能である。
- ・医療従事者（特に看護師）不足の現状を踏まえ、増床しても運営に疑問が残り慎重な対応が必要。
- ・逗子葉山地域では特に病院等の医療資源が不足する状況ではなく、市町単位ではなく二次医療圏単位で考えるべき。
- ・高度急性期では患者が増傾向であり、将来限界に達する懸念があるため、毎年度地域の実情を踏まえ、基準病床の見直しを検討すべき。
- ・地域医療構想で示された必要病床数や回復期病床の不足も加味して検討すべき。
- ・医療需要の増加が見込まれており、地域的な偏在もあることから、基準病床数を増としてほしい。

【結論】「2017 年人口・平成 28 年度病床機能報告の病床利用率」で算定し、毎年度見直しを検討

(3) 医療と介護の一体的な体制整備に係る調整について

- ・横須賀を中心に、この地域の在宅医療は他の地域と比べると充実している。

(4) 公的医療機関等 2025 プランについて

- ・次回以降に議論をすることとされた。